

第 16 回献血推進運動中央連絡協議会における協議事項について

1. 平成 25 年度に行われた事業等の実績評価

都道府県名	事業等の名称	事業内容	本事業の効果・効果の要因・ <u>26 年度に向けた改善点</u> (献血者数、参加者数等の数値で表せる場合は記載する)
茨城県	高校献血キャンペーン	・献血推進ポスターのデザインや標語を募集, 献血協力生徒へ記念品の配布・アンケートを実施 (キャンペーン期間: 10月から3月)	① <u>事業効果</u> ・・・キャンペーン期間中の高校生の献血者数増 ② <u>効果要因</u> ・・・キャンペーンチラシの配布, 口コミ
	赤十字キッズタウン	・小学生に赤十字の仕事を模擬体験してもらう。	・本年度新規事業 ・献血を併行実施(受付数 69 名, 採血数 59 名)
栃木県	栃木県誕生 140 年県民の日記念イベント	献血・啓発リーフレット、物資の配布	① <u>事業効果</u> ・・・献血者数 49 名 内 400mL 献血者数 36 名 (400mL73.5%) ② <u>効果要因</u> ・・・イベントの来場者数 50,000 人に対し、広く啓発することができた。 ③ <u>改善点</u> ・・・特になし
群馬県 (血液 C)	「献血感謝デー」 キャンペーン	・日ごろの献血協力への感謝の念を表すとともに一層の献血啓発を目的として実施した。 ・血液センター所長感謝状贈呈式及びイベント ・移動献血バスでの献血実施	① <u>事業効果</u> ・・・献血者数 245 名 ② <u>効果要因</u> ・・・来場者記念品引換え 474 名 アトラクション等開催 ③ <u>改善点</u> ・・・アトラクションが込みすぎたためメール会員限定など工夫が必要

群馬県 (県)	「はたちの献血キャンペーン」街頭活動	・「はたちの献血キャンペーン」期間中に県内大型ショッピングモールにて啓発イベントを実施	<ul style="list-style-type: none"> ① <u>事業効果</u>・・・来場者約 300 名。幅広い年代に対して献血をアピールすることができた。 ② <u>効果要因</u>・・・県内事業団スポーツ選手およびご当地アイドルなど地域住民に親しまれるキャラクターを用いた啓発イベントの実施。地元高校生ボランティアの参加。 ③ <u>改善点</u>・・・さらに多くの高校生ボランティアに参加してもらう。
埼玉県	大宮アルディージャ × 献 血	プロスポーツチームのマスコットに献血応援団のキャプテンに就任してもらい、地元駅及び試合会場で献血への理解と協力を求める呼びかけを行った。	<ul style="list-style-type: none"> ① <u>事業効果</u>・・・新聞（地域版）にも取り上げられ献血広報効果が高かった。 ② <u>効果要因</u>・・・地元のプロスポーツチームの理解と協力 ③ <u>改善点</u>・・・当該チームのファンだけでなく、幅広い層の人々が関心をもつイベントにする必要がある。
千葉県	献血セミナー (献血学習会・献血講話等)	スライドや DVD 等を使用して、献血の意義や理解の促進を図る。 (幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学等を対象に実施)	<ul style="list-style-type: none"> ① <u>事業効果</u>・・・延べ 16 回、3,097 人参加 ② <u>効果要因</u>・・・教育委員会の協力をはじめ、日本赤十字社千葉県支部、同血液センター、青少年赤十字、地域の青年会議所等の理解及び協力による。 ③ <u>改善点</u>・・・実施校数の拡大・より分かりやすい資料の製作。

東京都	<p>「献血しよう！2013 in TOKYO」 クリスマス スペシャルイベント</p>	<p>東京都と都血液センター共催。 秋冬期間の献血者確保対策として、イベントを実施。 献血会場において応募の受付を行う。イベントには代理店を通じて人気タレントを起用し、また、電車の窓上広告やテレビCM、イベント出演タレントのSNS等を通じて、幅広くイベント情報の発信を行った。</p> <p>・キャンペーン期間：平成25年10月1日～平成25年12月31日 期間中、400mL献血にご協力いただいた方に、プレミアムカレンダー・ポストカードを配布。</p> <p>・イベント応募期間：平成25年10月7日～平成25年12月8日 平成25年12月25日のクリスマススペシャルイベントに抽選で500組1000名様ご招待。</p>	<p>① <u>事業効果</u>・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーン期間中における全血献血者の前年度との比較。 平成25年10月1日～平成25年12月31日 101,505人 平成24年10月1日～平成24年12月31日 101,023人 結果482人増 ・イベント応募期間における全血献血者数の前年度との比較。 平成25年10月7日～平成25年12月8日 71,542人 平成24年10月7日～平成24年12月8日。 69,489人 結果2053人増 応募総数11,882人 <p>② <u>効果要因</u>・・・</p> <p>告知活動</p> <ul style="list-style-type: none"> (a) 特設サイトの開設 アクセス数：31,298回 (b) 東京都赤十字血液センターHPにバナー添付 (c) ポスターを献血会場等に掲示 (d) チラシを献血会場等で配布 (e) ポップを献血会場等に設置 (f) 都営地下鉄4線で窓上広告を掲示
-----	--	---	---

東京都			<p>期間：平成 25 年 10 月 7 日（月）～11 月 7 日（木）</p> <p>（g） イベント出演者のHPやSNSを通じて告知</p> <p>（h） TOKYO MXでのCM放送</p> <p>期間：平成 25 年 10 月 14 日（月）～12 月 8 日（日）</p> <p>放送：15 秒素材 142 本 30 秒素材 187 本</p> <p>（i） 東京都支部や献血ルーム等のSNSを通じての告知</p> <p>（j） 新宿西口献血ルーム壁面広告の掲示</p> <p>期間：平成 25 年 11 月 1 日（金）～12 月 31 日（水）</p> <p>（k） プレスリリースの配信</p> <p>配信：1 回目 平成 25 年 10 月 4 日（金） 2 回目 平成 25 年 10 月 30 日（水）</p> <p>（l） 広告換算 露出件数：151 件</p> <p>③ <u>改善点</u>・・・各広報活動の効果を検討し、より効率・効果的な広報方法について検討する。</p>
神奈川県	高校生献血 キャンペーン	<p>献血のスタートが 16 歳であることから、キャンペーンの対象を高校生に絞りキャンペーンを実施</p> <p>また、キャンペーン参加者には、地元プロサッカーチームとコラボした品物を配布。（実施期間は 10/1～12/31）</p>	<p>① <u>事業効果</u>・・・平成 24 年度に比べ、キャンペーン実施時期は、16%ほど献血率が増加した。</p> <p>② <u>効果要因</u>・・・各高等学校等の団体へは県を通し、また、FMヨコハマ、神奈川新聞「県民の窓」等マスコミを活用し広く県民に訴えることで、高校生の増加につながった。</p>

新潟県	献血ツアー (献血ルーム見学会)	献血ボランティアのリーダーとなりうる大学生を対象に献血ルームの見学と献血 PR に必要な基礎の習得(8月と12月の2回実施)。	<p>① <u>事業効果</u>・・・サマキャン、クリスマス献血キャンペーンにて主体的な活動ができた。</p> <p>② <u>効果要因</u>・・・上記イベントの直前に実施することができたため。</p> <p>③ <u>改善点</u>・・・献血ツアーの参加校が2校であったことから、今後は他の大学にも呼びかけていきたい。</p>
山梨県	若年層献血者確保対策	街頭にてハートフルコネクションキャンペーンを実施。FM局で献血の呼びかけ	<p>① <u>事業効果</u>・・・献血ルーム7日間で375名、移動献血で150名の献血実績</p> <p>② <u>効果要因</u>・・・NEXCO 中日本、学生献血推進連絡会の有志及びFM富士による献血の呼びかけ</p>
長野県	県内プロスポーツチームとのタイアップによるサポーター啓発事業	県内プロサッカーチームの「松本山雅FC」「AC長野パルセイロ」主催の試合に合わせて、会場に移動採血車を配車するとともに、試合会場でサポーターへの献血啓発を実施した。	<p>① <u>事業効果</u>・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チーム主催の試合会場に移動採血車を配車 ・8/11 AC長野 受付40名 献血30名 ・10/27 松本山雅 受付104名 献血89名 ○試合会場で啓発資材を配布 ・8/11 3,000部 ・10/27 10,000部 <p>② <u>効果要因</u>・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカーチームのサポーターは若年層に加えて30歳代が多いとされており、現在課題となっている年齢層と一致し、より効果的な啓発が可能となった。 ・試合開始前の制約された時間の中で多くのサポーターが献血に協力しており、実施方法(時間、配車台数等)を工夫することでさらに多くの協力を得られるものと考えられた。

2. 26年度献血推進計画に盛り込まれている事業の取組予定

①学生献血推進ボランティア等（同世代からの働きかけ）の広報活動

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うにあたっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
茨城県	<ul style="list-style-type: none"> ・サマー献血キャンペーン・クリスマス献血キャンペーン及びバレンタイン献血キャンペーン等学生ボランティアによるキャンペーンを実施し、献血の普及啓発を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生ボランティア
栃木県	<ul style="list-style-type: none"> ○学生献血推進連盟「かけはし」によるイベント等における普及啓発活動への支援 ○学校献血の支援 	学生献血推進連盟「かけはし」 (活動誌の発行、啓発物品の提供、「かけはし」主催献血キャンペーンの実施) 血液センター
群馬県 (血液C)	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学生クリスマス献血キャンペーンの実施 ・夏季献血確保キャンペーン(サマーキャンペーン) 	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県青年赤十字奉仕団 ・群馬県学生献血推進連合 ・日本赤十字社群馬県支部
埼玉県	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県学生献血推進連盟の企画による献血キャンペーンの実施(年4回) ・埼玉県学生献血推進連盟に加盟する大学数及び学生を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター ・埼玉県学生献血推進連盟

<p>千葉県</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県学生献血推進協議会の活動内容、活動状況を紹介するため学生ボランティアのホームページ新設 ・血液が不足する夏期冬期を中心に学生が起案、立案し、イベントを実施 (クリスマスキャンペーン・バレンタインDay献血キャンペーン・ホワイトDay献血キャンペーン) 	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県学生献血推進協議会 ・千葉県赤十字血液センター ・千葉県学生献血推進協議会 (学生献血協議会在籍者数115名)
<p>東京都</p>	<p>各大学で奉仕をいただいている学生ボランティアとの連携強化。献血実施にあたり、有効な事前広報のあり方を検討、より効果的な広報活動の確立を目指す。</p>	<p>部活動、サークルやSNSを介した献血広報。行えるところでは、事前に「献血セミナー」を実施し、学生ボランティアの意識向上を図る。</p>
<p>神奈川県</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・青年赤十字奉仕団神奈川県支部連絡協議会に所属する学生ボランティアに協力を依頼し、献血キャンペーンや血液不足時の献血広報等を通じて、10～20代の献血者の増加を図る。 	<p>青年赤十字奉仕団神奈川県支部連絡協議会</p>
<p>新潟県</p>	<p>○学生ボランティアによる街頭献血PR活動 (クリスマス献血キャンペーン等での呼びかけ。)</p>	<p>○高等学校、大学</p>
<p>山梨県</p>	<p>年3回以上、学生献血推進協議会主催の街頭献血実施、キャンペーン時の献血の呼びかけ及び学内献血時の呼びかけや広報のためのラジオ出演</p>	<p>学生献血推進協議会と血液センターの会議を年2回と必要に応じ随時開催する。 FM富士の協力</p>

長野県	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層献血普及啓発を目的に、学生ボランティアによるサマー及びクリスマスキャンペーンを大型店や駅前にて実施 ・県内プロサッカーチームとのタイアップにより試合会場に移動採血車を配車し献血PRを行うに際し、学生ボランティアの協力を得て若年層サポーターへの呼びかけを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学・短大・専門学校の学生ボランティア（広報活動の内容は学生ボランティアと協議） ・プロサッカーチーム
-----	---	---

②国民への献血実施の日時や場所等についての十分な広報活動

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うにあたっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
茨城県	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センターホームページへ掲載 ・新聞への掲載 ・ラジオによる告知（月～金） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元新聞社、ラジオ局
栃木県	<ul style="list-style-type: none"> ○血液センターホームページへの予定日時等の掲載 ○新聞における予定日時等の掲載 ○市町の広報誌における予定日時等の掲載 ○ラジオによる当日献血会場案内 	市町の血液主管課 (血液事業主管課長会議の開催)
群馬県 (県) (日赤支部) (血液C)	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村広報誌 ・ホームページでの情報提供 ・広報機関への情報提供（イベント・キャンペーン） ・テレビ・ラジオによる広報 ・ポスター等による献血会場の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・県広報課、記者クラブ、各広報機関等 ・新聞社、地元テレビ局、FMラジオ局 ・献血実施会場 ・市町村

埼玉県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センターのホームページへの掲載 ・ はがきの郵送による周知 ・ 携帯メールクラブ会員へメールによる周知 ・ 市町村広報誌 ・ 埼玉新聞 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター ・ 市町村 ・ 埼玉新聞社
千葉県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉県赤十字血液センターHP掲載（PC版・モバイル版） ・ 献血者減少時期の対応として、週末の献血会場をFMラジオにて告知（冬季～春先） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉県赤十字血液センター ・ 株式会社ベイエフエム
東京都	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都血液センターホームページにて、都内献血ルームや移動献血会場の情報を掲載。 ・ 都及び区市町村のホームページや広報誌、掲示板などで移動献血会場の情報を掲載している。 	<p>区市町村、自治会、ライオンズクラブ、協力団体などの協力により、ポスター・チラシの配布を行う。</p>
神奈川県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神奈川県薬務課及び広報県民課のツイッターや各行政機関、血液センターのホームページ上にて、献血会場、日時を周知する。 	<p>各市町村の献血担当課</p>
新潟県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 献血日程を広報誌、ホームページ等で周知。 ○ 複数回献血クラブ会員への毎月のメール配信による周知。 ○ 報道機関への情報提供による県民への広報依頼。 ○ 献血会場でのポスター掲示。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市町村、保健所 ○ 血液センター ○ テレビ、ラジオ、新聞各局 ○ 各献血会場

山梨県	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨日日新聞への掲載 ・読売新聞地方版への掲載 ・NHK 山梨版での県内放映 ・山梨県赤十字血液センターのホームページへの掲載 ・山梨県赤十字血液センターからのDM、メールクラブ、SNS等での呼びかけ 	<p>山梨県日日新聞編集局 読売新聞甲府支局健康欄担当者 NHK 甲府放送局「かいなび」の担当者</p>
長野県	<ul style="list-style-type: none"> ・県及び血液センターのホームページへの献血会場予定の掲載 ・地方紙、有線放送等の地元に着したメディアによる広報 ・自治体広報紙への移動献血会場の予定を掲載 ・高校、大学、専門学校等へ予定表の配布 ・血液センターからハガキ、メールによる情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治体 ・地元メディア（FM コミュニティー放送局等） ・教育機関

③平成23年4月1日に施行された採血基準改正についての広報

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
茨城県	<ul style="list-style-type: none"> ・県、血液センターホームページへ掲載 ・高校献血キャンペーン等での広報(チラシ等での広報) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会
栃木県	<ul style="list-style-type: none"> ○ポスター掲示やリーフレット等の配布 ○ラジオ、テレビ等による広報 ○ハガキ、メール等による周知活動 	血液センター

群馬県 (県) (日赤支部) (血液C)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県、支部、血液センターHP上での広報 ・ 広報用ポスターの掲示 ・ 朝日新聞広告 (別冊群馬版) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県 ・ 日本赤十字社群馬県支部 ・ 群馬県赤十字血液センター
埼玉県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター及び県のホームページに掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター
千葉県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉県赤十字血液センター及び県ホームページへの掲載 ・ 新聞広告掲載時に掲載 ・ 献血ルーム・献血会場等への掲出 ・ 献血推進協議会などへの周知 ・ 献血協力企業・団体担当者への周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉県赤十字血液センター
東京都	主に地域献血や献血ルームを中心に広報し周知を図る。	区市町村、自治会、ライオンズクラブの協力により、ポスター・チラシの配布を行うなど周知を図る。
神奈川県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県、市町村及び血液センターのホームページへの掲載、広報紙等の活用、各キャンペーンでの広報等により、住民に対して十分な理解と協力を呼びかける。 ・ 県内の公・私立高等学校長あてに献血セミナー等の協力依頼を実施時に献血基準について説明を行う。 ・ プロスポーツチームとの各イベント会場等で周知する。 	<p>市町村、保健福祉事務所との連携。</p> <p>県・各市町村の教育委員会、私立高校校長会等と連携。</p> <p>プロスポーツチーム等関係協力団体</p>
新潟県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高等学校等へ採血基準変更の周知文書送付。 ○ ホームページへの掲載。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高等学校、中等教育学校、市町村、保健所

山梨県	山梨県献血推進協議会での説明 血液事業推進会議及び市町村血液事業担当者会議 各地区献血推進協議会及び研修会 血液センターホームページへの掲載 移動献血バス・献血ルームへのポスター掲示とチラシ配布 啓発資材の配布（県内全中学3年生に配布）	各保健所及び各市町村担当 各保健所及び各献血団体
長野県	・献血セミナーの渉外活動時における採血基準改正の説明 ・県及び血液センターのホームページへの掲載 ・高等学校へ改訂内容のパンフレット配布と説明 ・採血基準改正の内容をパンフレットに記載し、県内の全高校生に配布	・ラジオ局 ・高等学校 ・ライオンズクラブ

④「献血セミナー」や血液センター等での体験学習への取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
茨城県	・高校、大学、企業等を対象とした献血出前講座の実施	・教育委員会，高校，大学，企業

<p>栃木県</p>	<p>○とちぎ県政出前講座において、「血液のはなし」と題し、血液の働きと、献血から作られる血液製剤の使われ方などについての説明</p> <p>○施設見学の実施や小学校等の校外学習事業の受入（血液センター）</p> <p>○献血教室（施設見学）&親子AED講習の実施（小学校夏休み期間）</p>	<p>依頼内容等により、血液センターと連携</p> <p>教育委員会・地域の小学校等</p>
<p>群馬県 （血液C）</p>	<p>・将来、血液供給の担い手となる子供達に学童期から積極的に献血に親しんでもらうことを目的として、献血に関する夏休み親子献血教室を開催する。</p>	<p>・前橋赤十字病院</p> <p>・前橋市</p>
<p>埼玉県</p>	<p>・血液センター職員を講師とした血液に関する出前講座の開催</p> <p>・子ども大学（小学4～6年生）での献血セミナー</p>	<p>・血液センター</p> <p>・教育委員会等学校を所管する関係機関</p> <p>・市町村教育委員会</p>
<p>千葉県</p>	<p>・県教育委員会へのセミナー実施校開拓の依頼</p> <p>・県内高等学校へのアンケート調査</p> <p>・献血実施校担当者への働きかけ</p> <p>・日本赤十字社千葉県支部を通じたのJRC担当教諭などへの働きかけ</p> <p>・血液センターホームページへの献血セミナー実施校募集告知の掲載</p> <p>・より判りやすいセミナー教材の作成</p>	<p>・県教育委員会との連携</p> <p>・日本赤十字社千葉県支部との連携</p> <p>・千葉県赤十字血液センター</p>

東京都	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都血液センター所在地である江東区を中心に、小学校等へ献血セミナーについて紹介。 ・ ホームページ等においても広く参加者の募集を図る。 ・ 夏休みの自由研究などでの、血液センター見学を積極的に受け入れる。 ・ 東京都内の中学校、高校、大学等で「献血セミナー（出前授業）」を開催し、献血思想の普及啓発を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区市町村の教育担当部署 ・ 過去に「献血セミナー」を実施した実績がある学校については、継続して実施できるよう働きかける。 ・ 新規実施にむけて各学校に働きかける。ライオンズクラブやPTAと連携。
神奈川県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の公・私立高等学校長あてに献血セミナー等の文書を郵送し周知をはかり、積極的に実施する。 ・ 「夏休み小中学生親子献血教室」を拡充し、血液の大切さや助け合いの心について更なる啓発を図る。 	<p>県・各市町村の教育委員会、私立高校校長会等と連携。</p> <p>市町村、各市町村教育委員会、県教育事務所、各小中学校等の連携を必要とし、文書での協力を依頼する。</p>
新潟県	<p>○ 献血普及講演会、献血ルーム見学会の実施（中学生～大学生対象）。</p>	<p>○ 県教育委員会、保健所、学校</p>
山梨県	<p>青少年赤十字リーダー養成事業での献血セミナー 日赤救急法での献血セミナー 高校への出張出前講座</p> <p>青少年赤十字高校生活実践発表会での献血セミナー 高校生の職場体験</p>	<p>日赤山梨県支部 日赤山梨県支部 各高校担当部署（ボランティア学習会等）への血液センターからの文書での確認 日赤山梨県支部及び各当番高校 各高校</p>

長野県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座（血液センター）、県政出前講座（県）による献血の重要性の呼びかけ ・ ライオンズクラブが開催する献血に関する研修会による献血思想の普及啓発 ・ 高校生を対象とした献血ルーム見学の実施と献血体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育機関（高校には県とセンターの担当者が訪問し出前講座実施の依頼） ・ 市町村、献血協力団体、ライオンズクラブ等
-----	--	---

⑤大学等における献血の推進及び将来の医療従事者をを目指す者に対する普及啓発の取組

都道府県名	予定事業の概要 （事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。）	本事業を行うに当たっての連携・協力先 （連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等）
茨城県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学内献血の実施 ・ 学園祭でのパネル展示やクイズ等の実施 ・ 大学等で献血を呼びかけるチラシを配布（はたちの献血キャンペーン等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学、専門学校等
栃木県	<ul style="list-style-type: none"> ○県内の大学・短大・専門学校での献血実施及び実施時に若年層向けチラシ・パンフレットの配布 ○学生献血推進連盟「かけはし」の活動支援 ○看護学校の学生等の血液センター施設見学の受入 ○看護学校の学生等あてにハガキ等による献血依頼 	血液センター、献血実施大学、学生献血推進連盟「かけはし」等

<p>群馬県 (県)</p> <p>(血液C)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県で実施しているインターンシップにおいて、県内薬学系大学学生に医療品である血液製剤の採血、製造、供給体制について説明することにより、将来学生達が薬剤師になった際、自らも現場で取り扱うこととなる血液製剤の重要性について知ってもらう。 ・学園祭会場内の教室で献血セミナーの実施と献血バスによる献血を実施し、学生に献血に対する理解と協力を深めてもらう。 ・医学生、及び看護学校生の研修受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内医療系大学 ・看護学校
<p>埼玉県</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学園祭や学内献血の際に献血セミナーを実施し、献血への理解と協力を求める。 	<p>血液センター 学生献血推進連盟</p>
<p>千葉県</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大学を中心とした学校献血、セミナー開催の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県赤十字血液センター
<p>東京都</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大学等については、学内献血の実施回数を増やすなど、若年層への働きかけを強化する。 ・医療従事者を目指す学生を対象とした、献血ルーム、血液センター見学会を実施。（例：東大、慶応、慈恵医大等）。 ・献血実施時の広報活動に協力をお願いしている学生ボランティアサークル等を対象とした、血液センター見学会を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各大学、申し込み施設等
<p>神奈川県</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県内大学（ボランティアサークル）を対象としたイベント「ボラフェスタ in KANAGAWA」の開催。 また、参加サークルの大学献血においては、学生を中心とした献血広報を展開する。 ・看護学生および医学生の血液センター見学・研修の受け入れを実施する。 	<p>横浜F・マリノス、川崎フロンターレ、湘南ベルマーレのプロスポーツチーム、FMヨコハマほか企業団体等</p>

新潟県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学、専門学校等への献血バスの配車。 ○ 大学、専門学校（全75校）に無料で配布されるフリーペーパーに学生モデルの献血体験レポートを掲載。 ○ 献血普及講演会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学、専門学校等 ○ 大学、専門学校等 ○ 大学、専門学校等
山梨県	<p>県立大学池田キャンパス学園祭での普及啓発</p> <p>山梨大学医学部付属病院での公開授業への参加</p> <p>県内7大学での献血実施</p>	<p>県立大学池田キャンパス学園祭実行委員会事務局との連携</p> <p>山梨大学医学部付属病院、供給窓口Drとの協力</p> <p>学生献血推進連絡会との連携</p>
長野県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療系の大学等の体験学習の受け入れ（血液センター） ・ 薬局等で研修中の薬学生（薬学実習生）による献血ルームの見学と献血体験 ・ 文化祭等に献血ブースを設けての献血普及啓発 ・ 県とセンター担当者による短大、大学、専門学校等への働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学、短大、専門学校 ・ 薬剤師会

3. 「献血推進2014」にある目標を達成するための重点的な取組み

① 献血の意義を理解していただく取組み（受血者の顔が見えるような広報など）

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
茨城県	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントの実施（愛の血液助け合い運動、J2サッカークラブとのキャンペーン、クリスマス献血キャンペーン等） ・献血協力者や輸血体験者の声を献血ルームや血液センターホームページに掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・献血連合会， J2サッカークラブ， 学生ボランティア ・献血協力者， 輸血体験者
栃木県	血液センターまつりの開催（模擬店、施設見学、献血実施）	血液センター、宇都宮合同ライオンズクラブ、栃木県学生献血推進連盟「かけはし」
群馬県 (血液C)	<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろの献血協力への感謝の意を表すとともに、一層の献血思想の普及推進を図ることを目的として「献血感謝デー」キャンペーンを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各報道機関等 ・県内ショッピングモール ・日本赤十字社群馬県支部
埼玉県	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーン時等に、各種媒体（県・市町村広報誌、FMラジオ番組等）に献血関連情報を提供 ・血液センターのホームページに献血協力者や輸血体験者の声を掲載 	血液センター 市町村 FM放送局
千葉県	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ・広報紙による献血者・受血者のメッセージ紹介 ・献血セミナー等での、受血者の体験を紹介するDVDの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県赤十字血液センター ・日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

東京都	・キャンペーン時に、ラジオ広報、駅構内のポスター掲示で献血の重要性をPRする。	・区市町村、JR、私鉄
神奈川県	・受血者の写真とコメントを記載したポスターを掲出する。 また、患者さんに献血推進イベント等に出演を依頼し、体験談等を話してもらう。	企業、協力団体、市町村
新潟県	○ 献血普及講演会におけるDVDの観賞（中学生～大学生対象）。 ○ 献血啓発資料の配布。	○ 県教育委員会、保健所、学校 ○ 市町村
山梨県	各医療機関で受血者の声を集めチラシ及び献血広報誌（年間3～4回発行）に活用 愛の助け合い及びはたちの献血キャンペーン時に、地元紙を使っての一面広告	血液センターMRが各Drより情報収集した受血者の声や各献血団体協力のもと献血現場の状況を献血広報誌に掲載 山梨新報社
長野県	・企業、学校、地域でのチラシやDVDの鑑賞を含めた出張講座	・企業、学校、市町村

②10代の方々に献血の意義を理解していただき、初めての献血を安心して行っていただくような環境整備

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
茨城県	・校内献血の実施 ・高校献血キャンペーンの実施 ・出前講座の開催	・教育委員会、高校

栃木県	高等学校学内献血の推進	血液センター、JRC青少年赤十字奉仕団
群馬県 (県) (血液C)	<ul style="list-style-type: none"> ・「献血デビュー支援事業」として移動採血車を配車する高校の1年生に対して啓発資材を作成し配布する。 ・16歳からの献血啓発として、県内中学3年生に対して献血をPRする啓発資材を配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内高等学校、中学校 ・県、県教育委員会 ・群馬県献血推進協議会
埼玉県	<ul style="list-style-type: none"> ・血液に関する出前講座、献血セミナーの開催 ・高等学校校内献血を推進するため保健所等・市町村及び血液センターの3者で高校を訪問し、校内献血の実施をお願いする。 	血液センター 教育委員会等高等学校を所管する関係機関 市町村 保健所
千葉県	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校を中心とした献血セミナー開催の推進 ・中高生への献血啓発ポスター募集事業の実施 ・スポーツチームと連携した献血啓発活動の実施 ・中学生向け啓発テキストの作成・配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県赤十字血液センター ・株式会社千葉ロッテマリーンズ ・株式会社日立柏レイソル ・NECグリーンロケッツ（日本電気株式会社） ・県教育委員会、市教育委員会
東京都	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の高校献血実施校の継続並びに夏期ボランティア参加校へ実施を要請する。 ・事前説明会の機会を拡大する。 	・都、市区町村の教育担当部署

神奈川県	<ul style="list-style-type: none"> ・「夏休み小中学生親子献血教室」、献血セミナー、高校・大学献血等を積極的に実施し、10代（若年層）の方々に献血の重要性を認識してもらう。 ・高校生の増加を目的に高校生献血キャンペーンを実施する。 	<p>市町村、各市町村教育委員会、県教育事務所、各小中学校等へ、文書での協力を依頼する。</p> <p>神奈川新聞社</p>
神奈川県 (川崎市)	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎市内在住・在学の高校生を、地元プロサッカーチーム川崎フロンターレの試合観戦へ招待し、試合開始前に献血推進イベント（献血バス（事前申込制）の配車及び各種献血に関するアトラクション等）を実施する。 	<p>献血推進イベントの広報チラシを川崎市立高等学校、川崎市内県立高等学校3校及び私立高等学校へ配布</p>
新潟県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 献血普及講演会、献血ルーム見学会の実施。 ○ 若年層をターゲットとしたフリーペーパーに「献血体験レポート」を掲載する。 ○ テレビ媒体を利用した献血のPR。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県教育委員会、保健所、各種学校 ○ 専門学校、大学 ○ テレビ局
山梨県	<p>県下全高校での集団献血実施及び男子校等の年間2回集団献血実施（献血機会の増加）及び高校生リレー献血の実施</p> <p>県下中学生対象の配布物</p>	<p>山梨県献血推進協議会の委員（県教育長・県高校長協会代表者）の承認。各学校長の承認</p> <p>ヴァンフォーレ甲府（J1）とのコラボレーション</p>
長野県	<ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングモールにおける臨時の献血体験ルーム設置による若年層へのアピール ・中学校、高等学校での出前講座の実施 ・学校献血における事前説明会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター

③ 20代の方々にリピータードナーとなっていただくような取組み

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
茨城県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学, 短大, 専門学校等学内献血の実施 ・ はたちの献血キャンペーンの実施 ・ 複数回献血クラブでのメールによる協力依頼 ・ 若者向けタウン誌での広報 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学, 短大, 専門学校 ・ 市町村 ・ 雑誌社
栃木県	大学・短大・専門学校学内献血の推進	血液センター、栃木県学生献血推進連盟「かけはし」
群馬県 (県) (血液C)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「けんけつちゃん」を使用したコマーシャル映像によるデジタルサイネージ広告を実施する。 ・ 献血実施の大学にて、献血メールクラブ勧誘の職員を配置し、20代のクラブ登録者を増員する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内3カ所の自動車教習所 ・ 大学、大学関係者
埼玉県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 携帯メールクラブ（複数回献血クラブ）への登録推進 ・ 携帯メールクラブ会員へ各イベント・キャンペーンのお知らせメール配信 	血液センター
千葉県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本赤十字社の複数回献血クラブの推進 ・ 各献血ルームでのイベント開催 ・ 若者向けタウン誌への啓発広告の掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉県赤十字血液センター ・ 地域雑誌社

東京都	<ul style="list-style-type: none"> ・複数回献血クラブの推進。 ・企業など優良な献血推進組織を育成し、組織内で定期的に献血に協力する風土を造ってもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生ボランティアによる、複数回献血クラブへの加入呼び掛け。 ・血液需給将来シミュレーションを用いて、企業など優良な献血推進団体へ説明を行い、組織内で定期的に献血に協力する風土を作ってもらう。
神奈川県	<ul style="list-style-type: none"> ・地元プロスポーツチームと協力したPR（イベント、キャンペーン実施） ・着ぐるみによる広報 	横浜F・マリノス、川崎フロンターレ、湘南ベルマーレ
新潟県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 未登録者に対する献血メールクラブ登録のお願い。 ○ 前回の献血から約6ヶ月間協力の無い方へのダイレクトメール発送。 	○ 血液センター
山梨県	<p>複数回メールクラブ新規会員募集</p> <p>学内での3人組献血キャンペーン実施</p> <p>月別イベントを多彩に実施（献血ルームにおいて）</p>	<p>血液事業本部提供の記念品（PCメガネ等）を使ったの会員募集</p> <p>前回協力してくれた代表者への葉書による依頼</p> <p>特技を持つボランティア</p>
長野県	<ul style="list-style-type: none"> ・複数回献血クラブ会員の募集とキャンペーン等のお知らせ配信 ・初回献血者へ、次回献血可能日近くに再来を促すハガキの送付 ・毎年同じ月の同じ曜日に同じ場所に移動採血車を配車する定例献血スポットキャンペーンの実施 	・血液センター

④献血者が心の充足感をより得られ、安心快適に献血を行っていただけるような環境整備

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
茨城県	・献血ルームでのカラーセラピー、ネイルアート、ハンドトリートメントの実施	・専門学校、ボランティア
栃木県	血液センター・献血ルーム（固定施設）において、リラクゼーション等の実施。献血ルームの献血ベッドに各々13インチテレビを設置。	
群馬県 (血液C)	・前橋献血ルームの部分改修	・群馬県赤十字血液センター
埼玉県	・大宮献血ルームウエストの施設整備（改修）	血液センター
千葉県	・移動採血車と受付・休憩会場に距離があるまたは導線上の視認がしにくい会場の改善	・千葉県赤十字血液センター
東京都	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性に合わせた献血ルームの開設や改装を実施し、イメージアップを図る。 ・地元大学の知財を活用した献血環境の改善等への取り組みを実施する。 ・移動・出張献血会場において使用する各種資器材を、総合的なデザイン観点から作成し、イメージアップを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区市町村 ・商店街、地域等 ・主に美術系大学（多摩美術大学との産学共同授業の実施）
神奈川県	・献血者の意見・要望等を尊重した献血ルームのサービス等の充実	

新潟県	○ 接遇の向上により献血者の満足度を上げる。	血液センター
山梨県	安全性確保のための献血前水分摂取の継続 整備した献血受付検診車及び献血受付車の最大限の活用	特になし
長野県	・献血ルームにおける、栄養相談やマッサージ等の実施	・血液センター

4. 27年度の献血推進計画への記載を要望する事項

都道府県名	27年度献血推進計画への記載を要望する事項。 (特段に希望する事項があれば記載してください。)	記載を要望する理由
10都県	なし	

